

災害時の対応

緊急時には[命を守る行動]最優先！

○地震関連

状 況		基 準
南海トラフ地震 臨時情報	調査中	☐ 登校前 → 休校 ☐ 在校中 → 授業中止 → 下校
	巨大地震警戒	☐ 1日程度の休校 ☐ 地震への備えの再確認
	巨大地震注意	☐ 1週間程度の休校 ☐ 地震への備えの再確認
	調査終了	☐ 原則通常授業
<u>震度5強以上</u> の地震が発生 したとき	登校前	☐ 休校
	登下校時	☐ 安全な場所に避難 ☐ 登校した生徒は原則として学校待機
	在校時	☐ 活動を中止し、原則として学校待機
	校外活動	☐ 活動を中止し、安全な場所に避難
<u>震度5弱以下</u> の地震が発生したとき		☐ 通常授業、ただし状況に応じて休校

○避難情報（警戒レベル）への対応

情 報	授 業	対 応
<u>警戒レベル 4以上</u> 全員避難	授業中止	<u>学校所在地において警戒レベル4以上が発表</u> ☐ 午前6時の時点で発表の場合は午前11時まで自宅待機 ☐ 午前11時の時点で解除されていない場合は「1日休校」 ☐ 午前11時の時点で警戒が解除されている場合は安全に登校できることを確認した上で午後の授業に間に合うように登校（ <u>確認できない場合は学校に連絡の上自宅待機</u> ）
	自宅待機 及び 居住地の 避難先	<u>居住地または通学路に警戒レベル4以上が発表</u> ☐ 解除されるまで、学校に連絡の上、自宅待機。 <u>居住地において避難指示が出ている場合は、居住地の避難先へ避難する。</u> 解除後に安全に登校できることを確認した上で登校。

○大規模停電への対応 ☐ 原則として休校

○各種気象注意報・警報

情 報		授 業	対 応
注意報	強風 大雨 洪水 津波	平常 授業	☐ 安全に登校できることを確認した上で登校（確認できない場合は学校に連絡の上自宅待機） ☐ JR・バス等の公共交通機関が不通の場合 →安全を確認し、これらの機関が開通次第、登校 ☐ 特に津波注意報では、沿岸部の活動は中止、下校時の注意喚起
		授業 中止	☐ <u>午前6時の時点で「浜松市南部」または「居住市町または通学経路がある地区」に警戒が発表されている場合は午前11時まで自宅待機</u> ☐ 午前11時の時点で警戒が解除されていない場合は「1日休校」 ☐ 午前11時の時点で警戒が解除されている場合、安全に登校できることを確認した上で午後の授業に間に合うように登校（ <u>確認できない場合は学校に連絡の上自宅待機</u> ） <在校時> ☐ 学校の避難計画に沿って避難する ☐ 安全が確認されるまで、原則として学校待機 <登下校中> ☐ 学校又は近くの避難施設に避難する
警報	大雨 洪水	平常授業 又は 授業中止	☐ 安全に登下校できることを確認した上で登校 ☐ 市町から出される避難情報に留意し、安全を確保できない場合は、自宅待機または、休校
		平常授業 又は 授業中止	☐ 安全に登下校できることを確認した上で登校（確認できない場合は学校に連絡の上自宅待機） ☐ 市町から出される避難情報に留意し、安全を確保できない場合は、自宅待機または、休校
	その他	平常授業 又は 授業中止	

○Jアラートによる緊急情報発信時の対応 教職員は継続して情報収集、判断し生徒に伝達する。

状 況		対 応
ミサイル発射	登下校中	近くの建物や地下に避難するか、近くに建物等がない場合は地面に伏せ、頭部等を守る。テレビやラジオ、携帯電話で情報を収集する。
	在校中	教員の指示に従う。
ミサイル通過 ＝影響がない	始業前	避難行動をやめ、登校する。
	在校中	避難行動をやめ、授業を再開する。
	放課後	避難行動をやめ、学校の指示に従い、下校する。
ミサイル落下 ＝影響がある	全時間帯	身の安全を最優先し、避難行動をとる。屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチ等で覆い、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
	登下校中	登校せず、最寄りの安全な施設に避難する。解除後登校し通常授業。

○原子力災害への対応 「警戒事態」以上でUPZ圏内在住の生徒は下校または保護者に引き渡し